

第6回 定例評議員会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成14年5月25日(土) 10:03~12:00
 2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館 4階第2研修室 (横浜市神奈川区沢渡4-2)
 3. 評議員出席状況： 評議員現在数： 50名
出席評議員数： 33名
委任評議員数： 14名
欠席評議員数： 3名 (出欠表添付)
 4. 出席理事： (副会長) 廣瀬 稔、古郡 敬一
(専務理事) 山田 隆、常務理事： 片 忠夫、三塚 康雄、菊地 富士夫
越前谷 芳隆
(理事) 早川 博基、野地 澄雄、平沢 幸一、上田 英之、本田 衛義、
柴田 秀一、内海 雄三、渡辺 三郎、山本 英雄、菊池 勇二、
木村 徳善、工藤 政蔵、栗田 謙悟、本宮 敏宏
欠席理事： (会長) 河野洋平、(理事) 百海 廷、鈴木 正
 5. 出席監事 井駒 利一、徳田 盾夫
 6. 出席顧問・参与 和久井民雄、清水 清則、本田、片岡春夫顧問、小島 祐嘉参与
 7. 議長選出 松浦 哲也評議員(小田原スキー協会)を指名
 8. 議事録署名人選出 鈴木 克美評議員(横浜スキー協会)、田中 義孝評議員(横浜スキー協会)を選出
 9. 書記 内海 雄三理事、高木 豊広報委員を指名
 10. 議 事
- 1) 第1号議案
 - (1) 報告事項
事業報告等について
山田隆専務理事から、平成13年度(SAJ14年度)の事業等につき報告があり了承した。
ア 河野洋平会長の体調について
イ 指導員会との関係について
会計報告等について
片忠夫常務理事から、平成13年度(SAJ14年度)の会計等につき報告があり了承した。
SAJ報告等について
佐々木理事から、平成13年度(SAJ14年度)のSAJ事業等につき報告があり了承した。
ア JOC八木さんのご不幸に伴う人事変更について
イ 登録人員数について
ウ SAJ会員登録について
エ ソルトレイクオリンピックについて
 - (2) 審議事項
特になし
 - 2) 第2号議案
 - (1) 報告事項
平成14年度(SAJ15年度)執行方針(案)について
山田隆専務理事から、平成14年度(SAJ15年度)執行方針(案)につき報告があり了承した。
平成14年度(SAJ15年度)総務方針(案)について
片忠夫常務理事から、平成14年度(SAJ15年度)総務方針(案)につき報告があり了承した。
平成14年度(SAJ15年度)教育本部方針(案)について
三塚康雄教育本部長から、平成14年度(SAJ15年度)教育本部方針(案)につき報告が

あり了承した。

平成14年度（SAJ15年度）教育本部行事（案）について

渡辺三郎理事から、平成14年度（SAJ15年度）教育本部行事（案）につき報告があり了承した。

平成14年度（SAJ15年度）競技本部方針（案）について

菊地富士夫競技本部長より、平成14年度（SAJ15年度）競技本部方針（案）、及び競技本部行事（案）につき報告があり了承した。

平成14年度（SAJ15年度）予算方針（案）について

片忠夫常務理事から、平成14年度（SAJ15年度）予算方針（案）につき報告があり了承した。

平成14年度（SAJ15年度）予算（案）について

上田英之理事から、平成14年度（SAJ15年度）予算（案）につき報告があり了承した。

（2）審議事項

1）執行方針について

鈴木評議員（川崎）から、登録事務のIT化、誰でもが参加できる競技行事開催選手選考規程の制定、財源の中長期見通し、について質疑があり、山田隆専務理事から、登録事務のIT化に関しては、他県連と比較し当連盟のIT化が進んでいるものの、SAJとの連携を含めた対応は難しいこと、誰でもが参加できるような競技行事開催の提案に関しては参加人員を増やすことは難しいが、ポイント登録を行っていない会員の参加を推進していくこと、選手選考規程に関しては、規約規定制定後、県に対して提案を行っていくこと、財源に関しては、現財源の確保を維持していく方針だが、財源増に向けて努力していく考えを述べた。

2）事業計画（案）について

八尾評議員（川崎）から、会計（指導員公認料）に関する質問、競技日程の確認管理費について質疑があり、会計に関しては、上田英之理事から説明が行なわれた。競技日程確認に関しては、山田隆専務理事から、配布資料の訂正が行なわれた。管理費については、山田隆専務理事から、少しでも多くの費用を残す方針であることが報告された。

3）クラブ対抗の参加人員について

井上評議員（厚木）から、クラブ対抗の参加チーム数と参加人数について質問があり、工藤理事より、参加チーム数は11チーム、参加人員は男子7チーム35名、女子4チーム12名、計47名であったとの報告が行なわれた。

4）会員登録等について

小室評議員（小田原）から、登録事務のIT化、会員増を目指した検討会について質疑あり、山田隆専務理事から、登録事務のIT化に関しては、他県連と比較し当連盟のIT化が進んでいるものの、SAJとの連携を含めた対応は難しいこと、会員増を目指した検討会に関しては、県の機関と連携した行事開催を県に対して提案していくこと、教育本部専門委員を競技へ参加させるなど活性化を図っていく方針であることが報告された。

5）ハンディキャップスキーについて

佐伯評議員（横浜）より、ハンディキャップスキーについて質疑があり、山田隆専務理事から、従来のアナウンス不足については反省しており、村上委員長と連携してアナウンスの徹底を行なうことが報告された。

3）第3号議案

（1）報告事項

1）次期役員選出について

（財）神奈川スキー連盟規約・規程に基づき開催された、役員候補選出委員会によって選出された新役員候補者名簿に基づき、山田隆専務理事から平成14年度役員選任の提案があった。名簿は次の通り。

理事：河野 洋平、廣瀬 稔、古郡 敬一、野地 澄雄

理事：山田 隆、片 忠夫、

理事：渡辺 三郎、菊地富士夫、越前谷芳隆、百海 廷、早川 博基、平沢 幸一

上田 英之、本田 衛義、柴田 秀一、木村 徳善、栗田 謙悟、本宮敏宏
堀 祐樹、長久保 巖、徳本
監 事：井駒 利一、徳田 盾夫
この役員候補者名簿に基づき、この提案について議長より承認を得たい旨諮ったところ満場一致で承認された。

ここで一時休憩を取り、新役員での理事会を開催。会長推薦理事の選出を行なった。

4) 第4号議案

(1) 会長推選理事の選任について

山田隆専務理事から、理事会で選出された会長推選理事について

菊地 勇二(横浜スキー協会：教育本部) 斎藤 幸雄(横浜スキー協会：総務本部)

清水 忠(川崎スキー協会：教育本部) 岡本 洋一(横浜スキー協会：総務本部)

の4名を推薦することを提案。全員の拍手で承認された。

次期役員体制について

会 長：河野 洋平 副会長：廣瀬 稔、古郡 敬一、野地 澄雄

専 務 理 事：山田 隆、

総務本部長(兼務)：片 忠夫

理 事：上田 英之、本田 衛義、柴田 秀一、百海 廷早川 博基、堀 祐樹

長久保 巖、徳本 進

事 務 局 長：越前谷 芳隆

教育本部長：渡辺 三郎

理 事：木村 徳善、菊地 勇二、清水 忠

競技本部長：菊地富士夫

理 事：栗田 謙悟、本宮敏宏、平沢 幸一

監 事：井駒 利一、徳田 盾夫

(2) その他

県総体について

県総体は、平成14年度は津南スキー場で実施するが、平成15年度より五竜とうみスキー場で実施したいとの報告があり了承した。

社会体育指導員資格について

S A J 教員本部から、社会体育指導員資格については制度終了の報告があったため、県連での対応を継続審議していくとの報告があり了承した。

スノーボード登録会員について

スノーボード有資格者数は多いものの、スノーボード登録会員が増えていないため、各協会に対応策を考えてもらいたい旨、協力要請があり了承した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成14年6月14日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印